

ENGINE NEWS vol.13

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

事業連繫大学：信州大学、富山大学、金沢大学

3大学をオンラインで繋ぐ授業

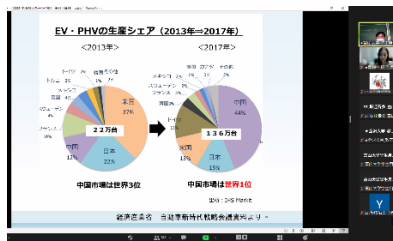
授業紹介

「富山の地域づくり～トップリーダーを繋ぐ」富山回スタート

富山大と信州大・金沢大をオンラインでつなぎ、合同でワークショップを行う「富山の地域づくり～地域のトップリーダーを繋ぐ」の授業は、6月13日から3回に分けて、富山大が担当するインフラ回の講義を行いました。

富山回の初回では、現代社会における「エネルギーと生活」についてグループで議論した後、日本海ガス絆ホールディングス社長、新田洋太郎氏による、同社の取り組みや地域の将来像を語って頂いた動画を視聴しました。富山回の2回めでは、IOT時代の発電とその課題をグループで議論しました。3回めの最終回では、水素自動車や自動車業界に焦点をあて、これからのビジョンを捉えていく機会としました。また、新田社長が見据える「地域におけるインフラ事業」の動画から、過疎・少子高齢化、核家族化が進む現代において、将来を創造する視点を学びました。

引き続き、本授業では、これからの新しい地域社会を展望していきます。



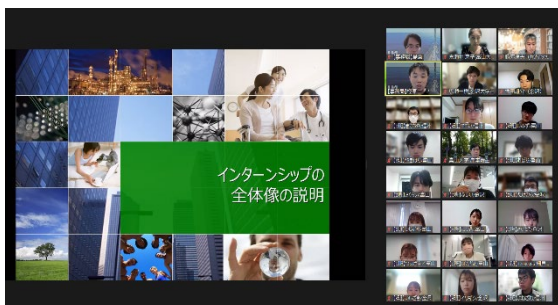
第10回 (6/27) 「インフラ」回の授業の様子

特殊講義 地域課題解決型プログラム— ENGINEインターンシップ 始動!

ENGINEプログラムでは、来年度の本格実施を前に、「地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ」(通称「ENGINEインターンシップ」)の試行版がスタートしました。開講期間は7月6日～9月23日の3か月間で、参加学生は、富山大14名(経済11名・理学2名・工学1名)、信州大7名、金沢大7名の合計28名です。

参加学生は、地域を「定量×定性」でリサーチしながら、地方創生に向けて「インフラ・ものづくり」「食」「交通」「観光」の4つの課題を設定していきます。第1回では、信大生、金大生と一つのチームを組み、解決策の実践・実行について議論を交わしました。

次号以降も、県域を超えた広域の教育プログラムを追いかけていきますので、学生たちの活動を是非、ご期待下さい。



第1回のインターンシップの様子

キャリア形成イベント 大しごとーく in 富山大学

7月9日(土)、今年度、富山大で初めてのキャリア形成イベント「大しごとーく in 富山大学」(五福キャンパス・学生会館にて開催)が、大盛況のうちに閉幕しました。

『学生の皆さんの?に、社会人が解決!』をテーマに、「社会・地域・就活」などのトピックを、県内32社の社会人にリアルに聞き、富山県に住みたい!、働きたい!といった魅力を感じてもらうイベントには、富大生のほか、信州大・金沢大から合わせて184名もの学生が参加しました。次回、11/12(土)は信州大で「大しごとーく in 信州」を予定しています。楽しみにお待ち下さい。



第1回「大しごとーく in 富山」(7/9)の様子

発行：富山大学ENGINE(嘉瀬井恵子 地域連携推進機構地域連携戦略室)
本プログラムに関する問合せ ☎: t-senryaku@adm.u-toyama.ac.jp
2022.7.11発行(毎月発行)



←ENGINEプログラムの詳細は左記Rコード
ENGINE facebook QRコード→

